



きらきら Ey eランド
JA庄内みどり

安全・安心をお届けします。

平成 27 年 3 月 10 日

グリーンプロジェクト情報 第1号

発行：庄内みどり農業協同組合
協力：酒田農業技術普及課

27年産の米づくりがスタート！！ 急がずに苗づくりの準備を！

平成27年度 水稲育苗作業計画

作業名	作業月日
塩水選	3月27日(金)～29日(日)
種子消毒	3月27日(金)～30日(月)
浸種	3月28日(土)～
催芽	4月10日(金)～14日(火)
播種	平坦4月12日(日)～16日(木), 中山間4月15日(水)～19日(日)
田植	平坦5月8日(金)～14日(木), 中山間5月14日(木)～21日(木)

春先は作業が集中します。正確な記録の為、農作業記録野帳への記帳を忘れずに！！

技、其の一 塩水選・品種混入防止に細心の注意を！

品種	塩水選の比重	水10%当たりの目安	
		塩(kg)	硫安(kg)
うるち	1.13	2.1	3.0

☆特に塩水選の際には、必ず採種地の確認をして、忘れずに産地・採種地ナンバーを生産記録書に記入しましょう。

☆品種の混入に注意して下さい。

※催芽袋での色分け、名札等でハッキリ確認できるようにしましょう。

☆塩水選後は、水道水で良く洗いましょう。

☆温湯消毒機を使用する方は塩水選をしないで下さい。

技、其の二 種子消毒は確実にに行ないましょう！

<ばか苗病の対策>

- 毎年発生がみられる場合、「イチバン」(500～1,000倍液で瞬時浸漬または散布)で、育苗箱の消毒を行って下さい。
- 育苗培土や苗床に籾殻を使用しないで下さい。また、被害ワラや籾殻を育苗施設周辺に放置しないで下さい。(腐熟が不十分な堆肥を含む。)
- 浸種は日陰で行い、水温を高くし過ぎないようにしましょう(15℃以下)。
- 温湯消毒の場合、浸種中の水交換は頻繁に行いましょう(2～3日毎)。

薬剤消毒法	使用薬剤	濃度	処理法
低濃度長時間 処理法	スポルタック乳剤	1000倍(10cc/10ℓ)	24時間浸漬、その後浸種。
	テクリートCフロアブル ※苗立枯細菌病にも有効	200倍(50cc/10ℓ)	24時間浸漬後、2～3日陰干し、その後浸漬。

注意事項

- ①種子消毒時の水温は、10℃～15℃であることを確認してください。(薬剤効果)
- ②浸漬処理の場合、処理薬液と種子籾の容量比は1：1以上とする。
- ③浸漬する場合には、催芽袋をよく揺すり中までしっかり薬液に浸るようにして下さい。
- ④使用後の廃液は周辺環境に影響をおよぼさないよう適切に処理するようお願いいたします。

薬剤消毒法	使用薬剤	濃度	処理法
湿粉衣法	ベンレート水和剤20	乾燥籾重の0.5%	2～3日間ひろげて陰干し後、浸種する。

技、其の三 浸種初日の水温と積算温度が重要！！

品種名	積算温度	浸種日数(目安)
はえぬき・ひとめぼれ・つや姫 コシヒカリ・ふくひびき	120℃以上	水温10℃ 12日間以上

- ①浸種開始初日の低水温は発芽率が低下します。
(お湯を加えるなどし、水温10℃～15℃を確保してから行いましょう。)
- ②浸種桶には、温度計を設置し水温を測って、確実に積算温度を確保しましょう。
- ③浸種時の水量は、種子量の2倍以上が基本です。(浴比1：2とする。)
- ④薬剤消毒種子の場合、薬剤効果安定の為、浸け始めから3日間は水を替えないで下さい。その後は、2～3日おきにこまめに水の交換を行いましょう。
- ⑤水交換の時には、種籾の位置・上下交換も行なって下さい。
- ⑥温湯消毒した種籾は、別の容器を準備し必ず区別して浸種して下さい。
- ⑦浸種時に活水(100倍液)を使用することによって、発芽状況が良好となります。
尚、催芽時にも活水(100倍液)を使用することで更に発芽が促進されます。

※水交換等については、裏面の「特別栽培米に取り組む方々へ」の内容を厳守願います。

技、其の四 育苗培土・育苗マットの使用は適切に！

①購入培土を使用する場合

透水性・通気性が大きすぎる場合は、pHに注意して下表の資材を混合するなどして保水性・保肥力を改善しましょう。

推奨資材

資材名	容量	pH	参考価格	1㎡当たり価格
ピートモス（A級）	50ℓ	4.6	864円	17.3円
水稻育苗用V床土	45ℓ	4.5	2,225円	49.4円

②育苗マットを使用する場合

育苗マットについては、下記の注意点を守り、健苗育成に努めましょう。

1. マットには裏表がありますので育苗箱に入れる場合は、十分確かめて下さい。
2. 播種時（前）にはマットにたっぷり灌水して下さい。（箱当たり約2ℓが目安）
3. 覆土は、（覆土用、肥料入等）やや多めに使用し、根上がりを防止しましょう。
4. マットは保水力が強いので、過湿にならないよう、育苗期間中の灌水はひかえめを心掛けて下さい。

③水田土壌を使用する場合

作土部を掘り、床土として利用して下さい。（深すぎて、耕盤まで掘り取らない様に注意）土塊を過度に乾燥させてしまうと、**砕土のとき土が細くなりすぎ**、酸素欠乏など障害を引き起こす事があるので、乾燥程度には特に留意しましょう。また土壌酸度（pH）を必ず確認しましょう。

床土改良のポイント

粘土系土壌の場合……透水性改善のため20%程度のくん炭（完全に炭化したもの）を混合する。
砂壤土系土壌の場合…保水性改善のためピートモス等を混合する。

技、其の五 床土消毒、肥料混和は播種7日前頃から！

①育苗基肥（1箱床土量 約3.2ℓ）

施肥例①	サイコ-11号:12g/箱	追肥は2回程度必要
施肥例②	サイコ-11号:8g/箱 + エコロン [®] 413M100:50g/箱	追肥は不要
施肥例③	育苗一発稚苗用：60g/箱	追肥は不要
施肥例④	育苗専用マット（こめパワーマット・エースマット）	追肥は2回程度必要

②床土消毒（苗立枯病の予防・ムレ苗予防）[特別栽培米は、使用薬剤について注意！]

床土に、上記の肥料を混合する時に下記の薬剤を同時混和する。

タチガレン粉剤（3～6g/箱）またはタチガレエースM粉剤（6～8g/箱）

☆苗立枯細菌病対策としては、カスミン粒剤（床土混和に30g/箱または覆土に15g/箱）

技、其の六 正確な温度でハト胸催芽を！

☆上手な催芽は健苗づくりの基本です。

- ①催芽温度は30～32℃とし、催芽の程度はハト胸状態とします。
- ②品種によって、催芽完了までに要する時間が多少違いますので、**随時、芽の状況を確認し、90%以上の揃った芽切れで仕上げるようにして下さい。**



技、其の七 適正な播種量で健康な苗作り！

☆播種量の基準

	葉齢	育苗日数	乾籾重	催芽籾重	催芽籾量
稚苗	2.5	25	150～170g	180～200g	1.6～1.8合
中苗	3.5	30	100～130g	120～160g	1.1～1.4合

特別栽培米に取り組む方々へ

早い地区で温湯消毒作業が始まりました。その後の作業・管理について**下記の注意事項を厳守して下さい。**（ばか苗病等の発生予防対策としても重要な事項です）

- ①温湯消毒をした種子と、スポルタック乳剤等による薬剤消毒をした種子とは、**完全に区別し、別々の容器で浸種して下さい。**（催芽も同様に対応して下さい）
- ②温湯消毒後の種子は引き取り後、**直ちに浸種**するか、日陰で十分乾燥させてから浸種まで保管してください。
- ③育苗箱に明確な目印などをつけて、区別して播種作業を行って下さい。
- ④育苗期の殺菌剤等については、地域ごとに特定されておりますので、指定された農薬以外は使用しないよう注意して下さい。

ポジティブリスト制度を遵守！

すべての農薬において残留農薬基準値が設定され、基準値をオーバーすると「生産物の出荷停止・回収」の事後対応が必要になるばかりか、市場の信頼を失うこととなります。

地域の農業者同士の連絡を密にし、決められた農薬の使用方法を厳守しましょう。

◎**ケラの予防対策**として、**育苗置き床に使用できる登録農薬はありません。**

波板などの設置による侵入防止策、有孔ポリを敷くなどの対策を行なうようにして下さい。

★次号の発行は4月10日です！



つや姫コーナー

栽植密度 70株/坪の徹底を！

- 庄内地域は、種子量が4.5kg/10aとなっています。28枚/10aの育苗箱を準備しましょう！
- 初期の生育・茎数確保が重要です。70株/坪、4～5本/株植えを徹底し、初期の分けつを促しましょう！
- 土壌pHの酸性化が確認されています。土壌改良資材を積極的に投入しましょう。